



学校だより
【5月10日号】

校長室より② 6年生が創る伝統…

6年生の学年集会で“伝統”について話しました。『総社小学校の伝統は?と6年生に尋ねると「あいさつ」「くすの木」…等が返ってきました。伝統は、気持ちのよいあいさつをする。きちんとろうかを歩く。黙ってそうじをする。安全に下校する。自転車に乗るときはヘルメットをかぶる等日々の暮らしの中で一つ一つを誠実にみんなで実行すること、毎日毎日積み重ねることではそれは、やがてよい伝統としその場所に 総社小学校に根付いていきます。派手なことや大きなことではなく、目立たない日々の暮らしの中の一つ一つを誠実に積み重ねていくことを大切にしてほしいと思います。

しかし、怖いもので逆 伝統を壊すこともあります。総社小学校の子どもは、あいさつせんなあ。下校がおちゃくちゃじゃなあ。そうじ時間やかましいなあ。って伝統もできてしまいます。これには時間はかかりません。築き上げるのは時間がかかるけど、壊れるのは一瞬。

そして、だれでもその発信ができるわけではありません。その発信ができるのは、総社小学校に伝統を残せるのは、伝統を創れるのは、総社小学校のリーダーである6年生にしかできません。良き伝統をつくるという大きな目標をもって、毎日の一つ一つの積み重ねを大切に1年間がんばってほしいと思います。下級生から慕われ、地域の方から愛され、先生方から頼りにされる オールそうじゃみんなから信頼されるリーダになってください。みなさんの5年生までのくらしぶりを見てみると必ず良き伝統を築いてくれると確信しています。頼むで!』

と話して、一か月が経ちました。朝活(あいさつ運動、落ち葉拾い、校舎内外の清掃、1年生の準備の手伝い)だまって掃除、だまって集合等々日々の一つ一つの活動を6年生みんなで誠実に取り組んでいます。伝統を創る いいスタートがきれっています。



1年生の目線に合わせて・・・